

海面漁業経営体数は 2,678 経営体、前回比 9.4%

2013年漁業センサス結果概要（平成25年11月1日現在）

企画広報部 統計調査課

はじめに

漁業センサスは、漁業の生産構造、就業構造及び漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取りまく実態を明らかにするとともに、水産行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として行われる調査で、昭和24年3月に第1回調査を実施して以来、今回で13回目の調査となりました。

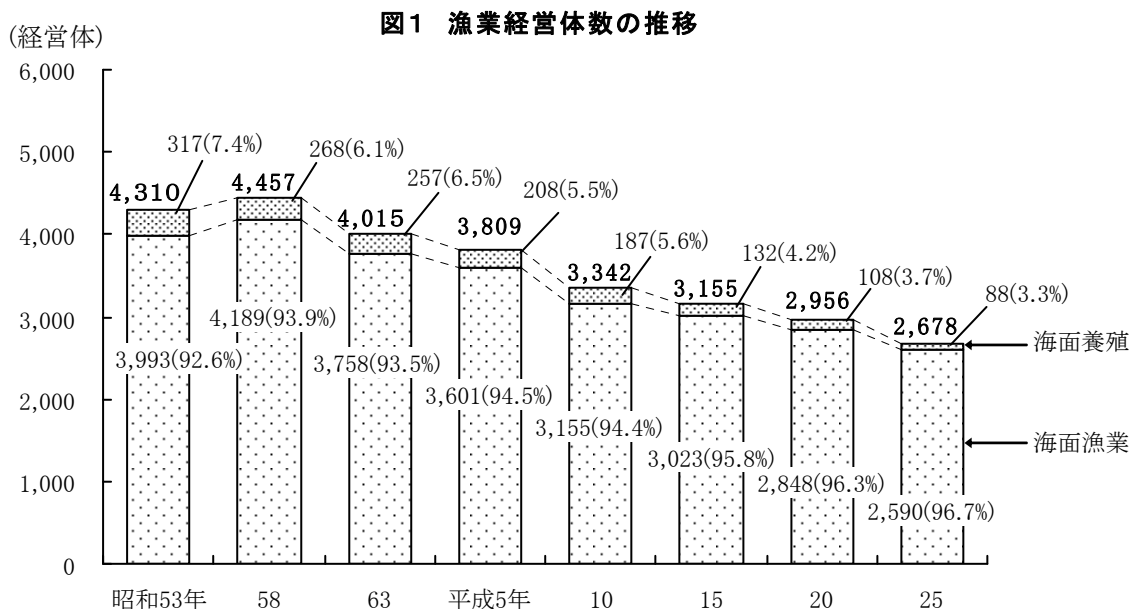
このたび、平成25年11月1日現在で実施した「2013年漁業センサス」のうち、「海面漁業調査(漁業経営体調査)」について、静岡県分の調査結果をとりまとめたのでその一部を紹介します。

海面漁業経営体調査結果の概要

1 漁業経営体

平成25年11月1日現在における本県海面漁業の漁業経営体数は2,678経営体で、前回（平成20年調査。以下同じ。）に比べ278経営体（9.4%）減少した。（図1）

〔 漁業経営体とは、過去1年間に利潤を得るため、生産物を販売することを目的として、海面において漁業を行った世帯又は事業所をいう。ただし過去1年間に漁業の海上作業を30日以上行わなかった世帯は除く。 〕

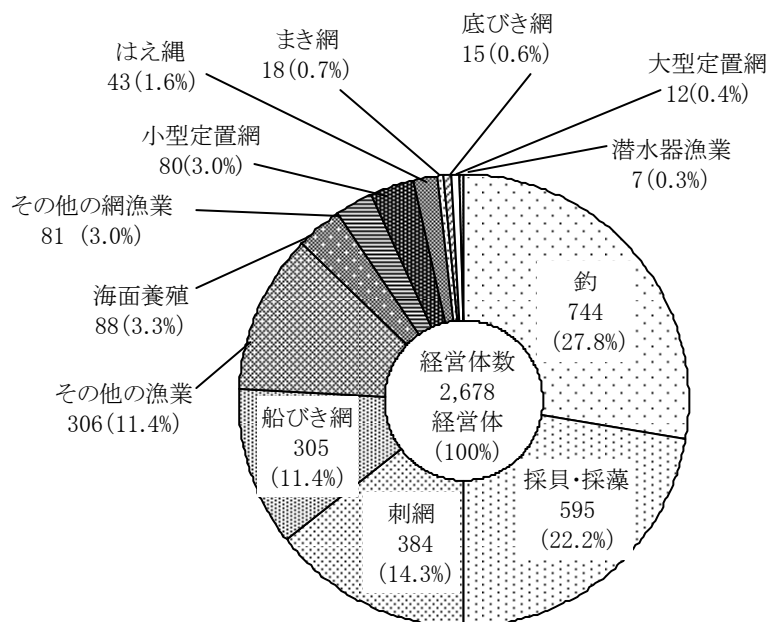


年	昭和58年	63	平成5年	10	15	20	25
対前回増減率 (%)	3.4	△9.9	△5.1	△12.3	△5.6	△6.3	△9.4

(1) 漁業種類別経営体数

主として営む漁業種類別に経営体数をみると、釣が744経営体（全漁業経営体数に占める割合27.8%）と最も多く、次いで、採貝・採藻595経営体（同22.2%）、刺網384経営体（同14.3%）、船びき網305経営体（同11.4%）の順となり、この4種で全体の75.7%を占めている。（図2）

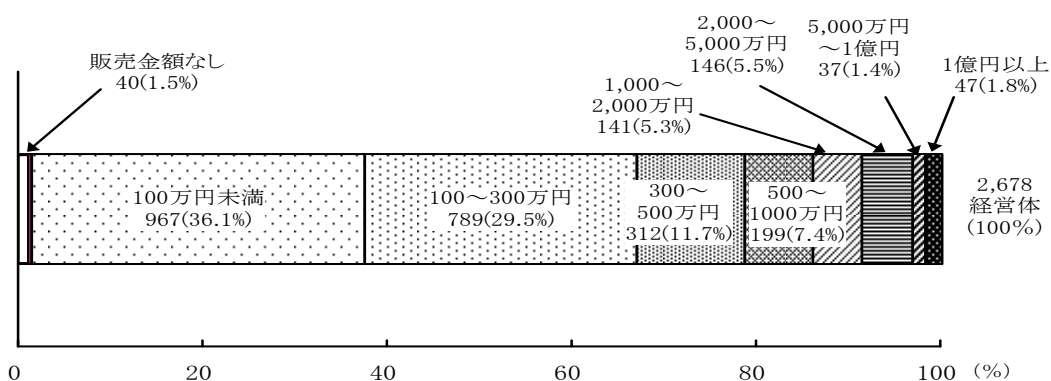
図2 漁業種類別経営体数(構成比)



(2) 漁獲物・収穫物の販売金額

漁獲物・収穫物の販売金額をみると、「100万円未満」の漁業経営体は967経営体（全漁業経営体数に占める割合36.1%）と最も多く、次いで、「100～300万円未満」789経営体（同29.5%）、「300～500万円未満」312経営体（同11.7%）の順となっている。（図3）

図3 漁獲物・収穫物の販売金額別漁業経営体数と構成比



2 個人経営体

専業別経営体数

個人経営体を専業別にみると、専業が891経営体（全個人経営体数に占める割合34.8%）、第1種兼業が723経営体（同28.3%）、第2種兼業が944経営体（同36.9%）で、前回に比べ、それぞれ6.3%、3.9%、14.0%減少した。（第1表）

- ・専業：過去1年間の収入が自営漁業からのみあった場合。
- ・第1種兼業：過去1年間の収入が自営漁業以外からもあり、かつ、自営漁業からの収入がそれ以外の仕事からの収入より多い場合
- ・第2種兼業：過去1年間の収入が自営漁業以外からもあり、かつ、それ以外の仕事からの収入が自営漁業からの収入より多い場合

第1表 専兼業別個人経営体数

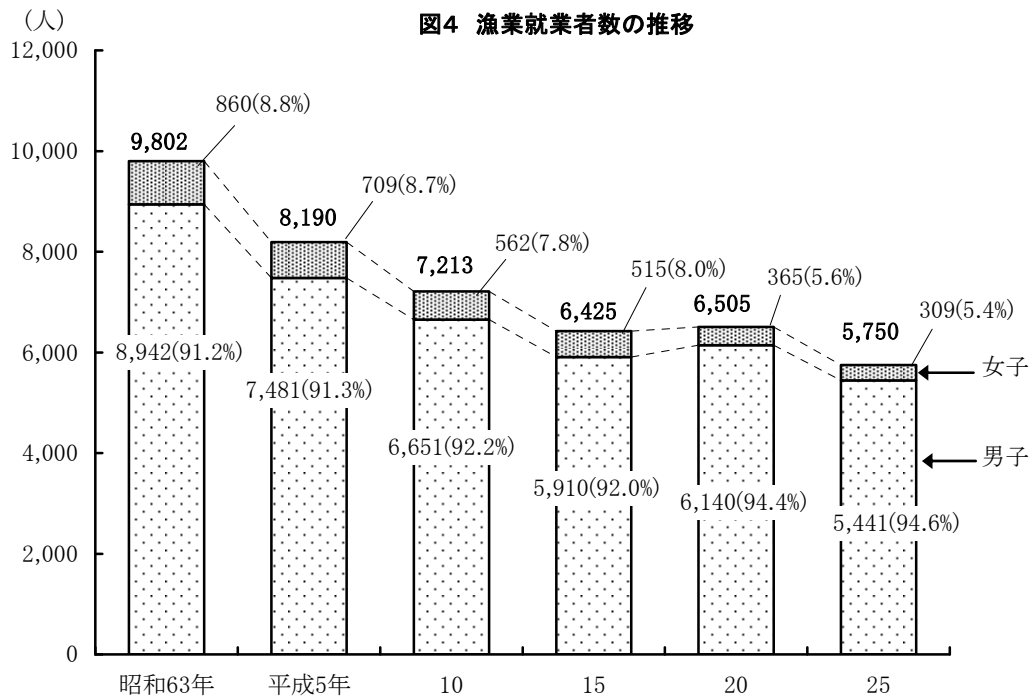
区 分	平成15年		20		25		対前回 (25/20)	
	経営体	構成比	経営体	構成比	経営体	構成比	増減数	増減率
計	2,991	100.0	2,801	100.0	2,558	100.0	△ 243	△ 8.7
専 業	582	19.5	951	34.0	891	34.8	△ 60	△ 6.3
兼 業	2,409	80.6	1,850	66.0	1,667	65.2	△ 183	△ 9.9
第1種兼業	983	32.9	752	26.8	723	28.3	△ 29	△ 3.9
第2種兼業	1,426	47.7	1,098	39.2	944	36.9	△ 154	△ 14.0

3 漁業就業者

(1) 漁業就業者数

漁業就業者数は5,750人で、前回に比べ755人(11.6%)減少した。(図4)

(漁業就業者とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者をいう。)



(2) 性別・年齢別漁業就業者数

漁業就業者数を性別にみると、男子は5,441人(全漁業就業者数に占める割合94.6%)、女子は309人(同5.4%)で、前回に比べそれぞれ11.4%、15.3%と減少した。

年齢階層別にみると、全漁業就業者数に占める男子の65歳以上就業者の割合は32.4%で、前回に比べ0.7ポイント減、女子は3.2%で、前回に比べ0.1ポイント減となった。(第2表)

第2表 性別・年齢区分別漁業就業者数

区分	昭和63年	平成5年	10	15	20		25		対前回 (25/20)	
					構成比		構成比		増減数	増減率
	人	人	人	人	人	%	人	%	人	%
合計	9,802	8,190	7,213	6,425	6,505	100.0	5,750	100.0	△ 755	△ 11.6
男	8,942	7,481	6,651	5,910	6,140	94.4	5,441	94.6	△ 699	△ 11.4
計	96	63	70	52	45	0.7	42	0.7	△ 3	△ 6.7
15～19歳	208	140	143	149	179	2.8	144	2.5	△ 35	△ 19.6
20～24歳	295	192	194	182	281	4.3	275	4.8	△ 6	△ 2.1
25～29歳	444	264	242	232	264	4.1	338	5.9	74	28.0
30～34歳	677	403	294	276	329	5.1	328	5.7	△ 1	△ 0.3
35～39歳	854	623	402	311	377	5.8	380	6.6	3	0.8
40～44歳	1,069	768	619	425	451	6.9	408	7.1	△ 43	△ 9.5
45～49歳	1,472	946	711	618	539	8.3	449	7.8	△ 90	△ 16.7
50～54歳	1,511	1,197	857	678	713	11.0	472	8.2	△ 241	△ 33.8
55～59歳	1,157	1,327	1,077	770	811	12.5	740	12.9	△ 71	△ 8.8
60～64歳	1,159	1,558	2,042	2,217	2,151	33.1	1,865	32.4	△ 286	△ 13.3
65歳以上計	627	948	1,129	969	791	12.2	611	10.6	△ 180	△ 22.8
65～69歳	343	401	634	823	808	12.4	600	10.4	△ 208	△ 25.7
70～74歳	189	209	279	425	552	8.5	654	11.4	102	18.5
75歳以上	860	709	562	515	365	5.6	309	5.4	△ 56	△ 15.3
女	860	709	562	515	365	5.6	309	5.4	△ 56	△ 15.3
計	-	-	-	2	1	0.0	-	-	△ 1	-
15～19歳	2	1	-	2	2	0.0	1	0.0	△ 1	△ 50.0
20～24歳	7	3	1	1	1	0.0	3	0.1	2	200.0
25～29歳	12	9	5	5	-	0.0	5	0.1	5	-
30～34歳	35	10	16	6	5	0.1	5	0.1	0	0.0
35～39歳	66	39	16	12	11	0.2	9	0.2	△ 2	△ 18.2
40～44歳	114	61	37	19	19	0.3	21	0.4	2	10.5
45～49歳	169	106	50	45	24	0.4	21	0.4	△ 3	△ 12.5
50～54歳	206	152	94	58	40	0.6	20	0.3	△ 20	△ 50.0
55～59歳	130	179	124	93	49	0.8	39	0.7	△ 10	△ 20.4
60～64歳	119	149	219	272	213	3.3	185	3.2	△ 28	△ 13.1
65歳以上計	67	100	128	112	78	1.2	43	0.7	△ 35	△ 44.9
65～69歳	31	32	73	107	81	1.2	70	1.2	△ 11	△ 13.6
70～74歳	21	17	18	53	54	0.8	72	1.3	18	33.3
75歳以上										

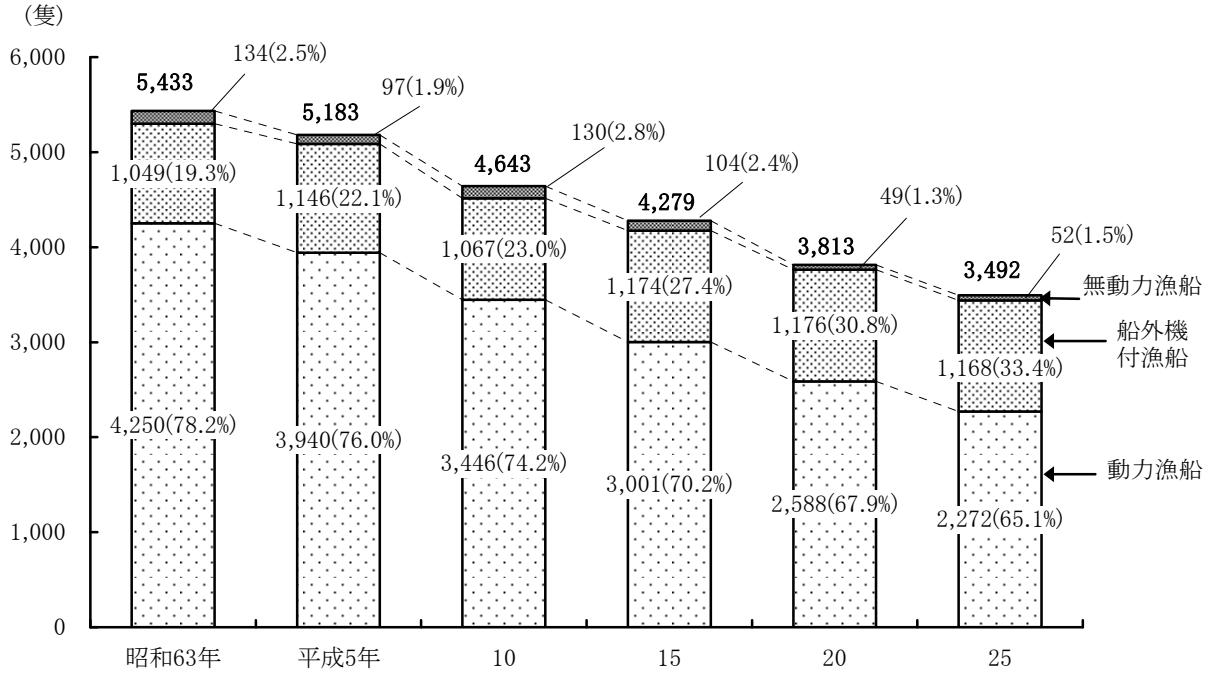
4 漁船

漁業経営体が過去1年間に漁業生産に使用し、調査期日現在保有している漁船の総隻数は3,492隻で、前回に比べ321隻(8.4%)減少した。

漁船隻数を規模別にみると、無動力漁船が52隻(全漁船隻数に占める割合1.5%)、船外機付漁船が1,168隻(同33.4%)、動力漁船が2,272隻(同65.1%)で、前回に比べ船外機付漁船と動力漁船がそれぞれ0.7%、12.2%減少し、無動力漁船は6.1%増加した。

動力漁船をトン数規模別にみると、10～30トン未満、100～200トン未満及び500～1,000トン未満の階層で増加し、それ以外の階層では減少した。(図5)

図5 漁船隻数の推移



5 市町の状況

(1) 漁業経営体数

漁業経営体数は、浜松市が 625 経営体（全漁業経営体数に占める割合 23.3%）で最も多く、次いで、下田市 221 経営体（同 8.3%）、沼津市 219 経営体（同 8.2%）、静岡市 188 経営体（同 7.0%）、湖西市 183 経営体（同 6.8%）の順となった。

前回に比べ増加した主な市町は、下田市（35 経営体、18.8%増）、熱海市（12 経営体、13.5%増）、減少した主な市町は、掛川市（12 経営体、48.0%減）、御前崎市（47 経営体、32.0%減）、牧之原市（31 経営体、26.3%減）となった。（第3表）

(2) 漁業就業者数

漁業就業者数は、浜松市が 828 人（全漁業就業者数に占める割合 14.4%）と最も多く、次いで、静岡市 787 人（同 13.7%）、沼津市 740 人（同 12.9%）、焼津市 627 人（同 10.9%）の順となった。

前回に比べ増加した主な市町は、熱海市（47 人、35.6%増）、下田市（17 人、5.1%増）、減少した主な市町は、松崎町（29 人、32.2%減）、御前崎市（102 人、31.4%減）、南伊豆町（42 人、18.4%減）、焼津市（140 人、18.3%減）となった。（第4表）

(3) 動力漁船隻数

動力漁船隻数は、沼津市が 273 隻（全漁船隻数に占める割合 12.0%）で最も多く、次いで、静岡市 250 隻（同 11.0%）、浜松市 234 隻（同 10.3%）、湖西市 203 隻（同 8.9%）、下田市 177 隻（同 7.8%）の順となった。

前回に比べ増加した主な市町は、熱海市（16 隻、25.0%増）、東伊豆町（9 隻、14.5%増）、河津町（2 隻、8.7%増）、減少した主な市町は、浜松市（102 隻、30.4%減）、焼津市（43 隻、24.0%減）、牧之原市（25 隻、22.7%減）となった。（第5表）

第3表 市町別漁業経営体数

市 町	漁 業 経 営 体 数				
	平成 20年	25	対前回 (25/20)		
			構成比	増減数	増減率
計	経営体	経営体	%	経営体	%
計	2,956	2,678	100.0	△ 278	△ 9.4
静岡市	198	188	7.0	△ 10	△ 5.1
浜松市	701	625	23.3	△ 76	△ 10.8
沼津市	259	219	8.2	△ 40	△ 15.4
熱海市	89	101	3.8	12	13.5
伊東市	129	146	5.5	17	13.2
富士市	72	69	2.6	△ 3	△ 4.2
磐田市	112	102	3.8	△ 10	△ 8.9
焼津市	109	87	3.2	△ 22	△ 20.2
掛川市	25	13	0.5	△ 12	△ 48.0
袋井市	2	2	0.1	0	0.0
下田市	186	221	8.3	35	18.8
湖西市	175	183	6.8	8	4.6
伊豆市	60	56	2.1	△ 4	△ 6.7
御前崎市	147	100	3.7	△ 47	△ 32.0
牧之原市	118	87	3.2	△ 31	△ 26.3
東伊豆町	76	72	2.7	△ 4	△ 5.3
河津町	31	27	1.0	△ 4	△ 12.9
南伊豆町	183	149	5.6	△ 34	△ 18.6
松崎町	74	59	2.2	△ 15	△ 20.3
西伊豆町	175	142	5.3	△ 33	△ 18.9
吉田町	35	30	1.1	△ 5	△ 14.3

第4表 市町別漁業就業者数

市 町	漁 業 就 業 者 数				
	平成 20年	25	対前回 (25/20)		
			構成比	増減数	増減率
計	人	人	%	人	%
計	6,505	5,750	100.0	△ 755	△ 11.6
静岡市	865	787	13.7	△ 78	△ 9.0
浜松市	937	828	14.4	△ 109	△ 11.6
沼津市	870	740	12.9	△ 130	△ 14.9
熱海市	132	179	3.1	47	35.6
伊東市	274	255	4.4	△ 19	△ 6.9
富士市	168	162	2.8	△ 6	△ 3.6
磐田市	246	230	4.0	△ 16	△ 6.5
焼津市	767	627	10.9	△ 140	△ 18.3
掛川市	x	x	x	x	x
袋井市	x	x	x	x	x
下田市	331	348	6.1	17	5.1
湖西市	295	275	4.8	△ 20	△ 6.8
伊豆市	76	71	1.2	△ 5	△ 6.6
御前崎市	325	223	3.9	△ 102	△ 31.4
牧之原市	216	187	3.3	△ 29	△ 13.4
東伊豆町	109	107	1.9	△ 2	△ 1.8
河津町	64	59	1.0	△ 5	△ 7.8
南伊豆町	228	186	3.2	△ 42	△ 18.4
松崎町	90	61	1.1	△ 29	△ 32.2
西伊豆町	260	213	3.7	△ 47	△ 18.1
吉田町	222	194	3.4	△ 28	△ 12.6

第5表 市町別動力漁船隻数

市 町	動 力 漁 船 隻 数				
	平成 20年	25	対前回 (25/20)		
			構成比	増減数	増減率
計	隻	隻	%	隻	%
計	2,588	2,272	100.0	△ 316	△ 12.2
静岡市	275	250	11.0	△ 25	△ 9.1
浜松市	336	234	10.3	△ 102	△ 30.4
沼津市	323	273	12.0	△ 50	△ 15.5
熱海市	64	80	3.5	16	25.0
伊東市	145	137	6.0	△ 8	△ 5.5
富士市	71	70	3.1	△ 1	△ 1.4
磐田市	70	66	2.9	△ 4	△ 5.7
焼津市	179	136	6.0	△ 43	△ 24.0
掛川市	x	x	x	x	x
袋井市	x	x	x	x	x
下田市	171	177	7.8	6	3.5
湖西市	206	203	8.9	△ 3	△ 1.5
伊豆市	26	21	0.9	△ 5	△ 19.2
御前崎市	131	103	4.5	△ 28	△ 21.4
牧之原市	110	85	3.7	△ 25	△ 22.7
東伊豆町	62	71	3.1	9	14.5
河津町	23	25	1.1	2	8.7
南伊豆町	112	104	4.6	△ 8	△ 7.1
松崎町	59	53	2.3	△ 6	△ 10.2
西伊豆町	138	108	4.8	△ 30	△ 21.7
吉田町	78	69	3.0	△ 9	△ 11.5